



豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.110)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご報告

豊田PCB廃棄物処理施設では毎年5月と11月に定期点検を行っています。これはPCB廃棄物の処理能力の維持と操業の安全を確保するために非常に重要な業務です。平成25年度春期定期点検は5月1日(水)～22日(水)の22日間で実施しました。

●災害防止協議会の開催

定期点検開始に先立ち、作業を実施する工事会社が一堂に会して「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検期間中に事故や災害を発生させないことを目的に開催しており、基本的なルールや安全対策などについて確認しました。



●主な定期点検実施内容

この春期定期点検では、安全で安定した操業の維持のため、摩耗部分・老朽化部分を中心に点検整備・改修を実施しました。その中の2つをご紹介します。

蒸留塔真空ポンプ

PCBと洗浄溶剤を分離する蒸留塔内の圧力を適正に保つための真空ポンプです。分解後、内部を清掃し、摩耗部品の交換等の点検整備を実施しました。

遠心分離機

PCB無害化処理後、固体と液体を分離する装置です。分解して各部に付着したスラッジを除去・清掃し、各部に摩耗・損傷等がないか点検しました。



2. 少量保管事業者の皆さまに対する説明会について



●少量保管事業者説明会の目的

豊田PCB廃棄物処理施設では少量保管事業者の皆さまに向けた処理説明会を計画的に行っています。

この説明会は、主に特定の地域に保管されているPCB機器を効率よく収集し処理するとともに、運搬の効率化を図ることで保管事業者の皆さまの費用の低減を目的としています。

●今年度の予定について

今後の少量保管事業者説明会開催計画は以下の通りです。今後も計画的に開催します。

6月：三重県伊勢市、松阪市、多気郡、伊賀市、名張市

7月：静岡県御殿場市、裾野市、小山町、三島市、田方郡、長泉町、清水町



3. 平成24年度環境モニタリング調査結果について

豊田PCB廃棄物処理施設では設備の稼働に伴う周辺環境への影響の有無を把握するため、定期的にモニタリング調査を行っています。

平成24年度は4月、7月、10月及び平成25年1月の合計4回調査いたしました。調査の結果、すべて環境基準値に適合していることを確認しています。

■調査項目及び調査回数

- ①大気：年4回、風下の敷地境界の1地点
(PCB、ダイオキシン類、ベンゼン)
- ②土壌：年1回、敷地内の1地点
(PCB、ダイオキシン類)
- ③地下水：年2回、敷地内の1地点
(PCB、ダイオキシン類)



測定中の周辺環境大気測定装置

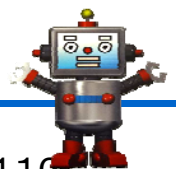


アザランのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸